

SATySF_I L^AT_EX Template

pickoba

2024 年 10 月 6 日

このリポジトリは、SATySF_Iで L^AT_EX 文書を作成するテンプレートです。VS Code の Dev Container か Gitpod での使用を想定しています。

1 文書のコンパイル

VS Code 上で `main.saty` を開いている場合、以下のいずれかの方法で文書をコンパイルすることができます。

1. ショートカットキー `ctrl/cmd + alt + b`
2. エディタ右上のボタン（再生マーク）

統合ターミナルで `make document.pdf` を実行することでもコンパイルできます。

2 利用可能なコマンド

L^AT_EX のコマンドをラップする各種コマンドが `latex-base.satyh-latex` 内に定義されています。

2.1 段落・節

通常の段落は `+p` で、インデントなしの段落は `+pn` で作成できます。引数は段落の内容を示すインラインテキストです。

```
1 +p{
2   normal paragraph
3 }
4 +pn{
5   no indent paragraph
6 }
```

節は `+section` と `+subsection` で作成できます。第一引数は節のタイトルを示すインラインテキスト、第二引数は節の内容を示すブロックテキストです。

```
1 +section{ section title }<
2   +p{
3     section content
4   }
```

```

5   +subsection{ subsection title }<
6     +p{
7       subsection content
8     }
9   >
10 >

```

2.2 テキスト装飾

`\textbf`, `\textit` が利用可能です。

```

1 +p{
2   \textbf{bold string}, \textit{italic string}
3 }

```

bold string, *italic string*

2.3 箇条書き

番号付き箇条書きは `+enumerate` で、番号なし箇条書きは `+itemize` で作成できます。箇条書きの各要素は `*` で開始し、その数を増やすことで入れ子構造を作成できます。

```

1 +enumerate{
2   * item 1
3   * item 2
4     ** item 2-1
5     ** item 2-2
6   * item 3
7 }

```

1. item 1
2. item 2
 - (a) item 2-1
 - (b) item 2-2
3. item 3

段落の途中で箇条書きを挿入したい場合は、インラインコマンド版の `\enumerate` と `\itemize` を利用できます。

```

1 +p{

```

```

2 paragraph text
3 \itemize{
4     * item 1
5     * item 2
6 }
7 paragraph text
8 }

```

```

paragraph text

• item 1
• item 2

paragraph text

```

2.4 コードブロック

コードブロックは `+code` で作成できます。引数はコードの内容を示す文字列です。

```

1 +code(```
2 #include <stdio.h>
3
4 int main() {
5     printf("Hello, world!\n");
6     return 0;
7 }
8 ```);

```

```

1 #include <stdio.h>
2
3 int main() {
4     printf("Hello, world!\n");
5     return 0;
6 }
7

```

2.5 画像の挿入

画像は `+figure`, `\figure` で挿入できます。引数は `figure` 型の値で、通常 `include-graphics` 関数を利用して作成します。配置はオプション引数で指定できます。

`include-graphics` 関数は画像ファイルのパスを必須引数に取り、オプション引数として中央寄せをするかどうかを示す `centering` と画像サイズを示す `scale` を指定できます。

```
1 +figure(include-graphics ?(centering = true, scale = 0.2) `images/sunset.jpg`);
```



画像にキャプションをつけたい場合、`with-caption` 関数を利用します。オプション引数としてラベルを指定でき、`\ref` で参照できます。`with-caption \{caption\}` (`include-graphics ...`) と書いても良いですが、パイプライン演算子 `|>` を利用して `include-graphics ... |> with-caption \{caption\}` と書くこともできます。

```
1 +figure(  
2   include-graphics ?(centering = true, scale = 0.3) `images/sunset.jpg`  
3   |> with-caption ?(label = `fig:editor`) {Sunset}  
4 );  
5 +p{  
6   See figure \ref(`fig:editor`);.  
7 }
```

See figure 1.

3 連絡先

バグ報告等あれば以下にご連絡ください。

- GitHub (Template): [pickoba/satysfi-latex-template](#)
- SATySFSlack: @pickoba

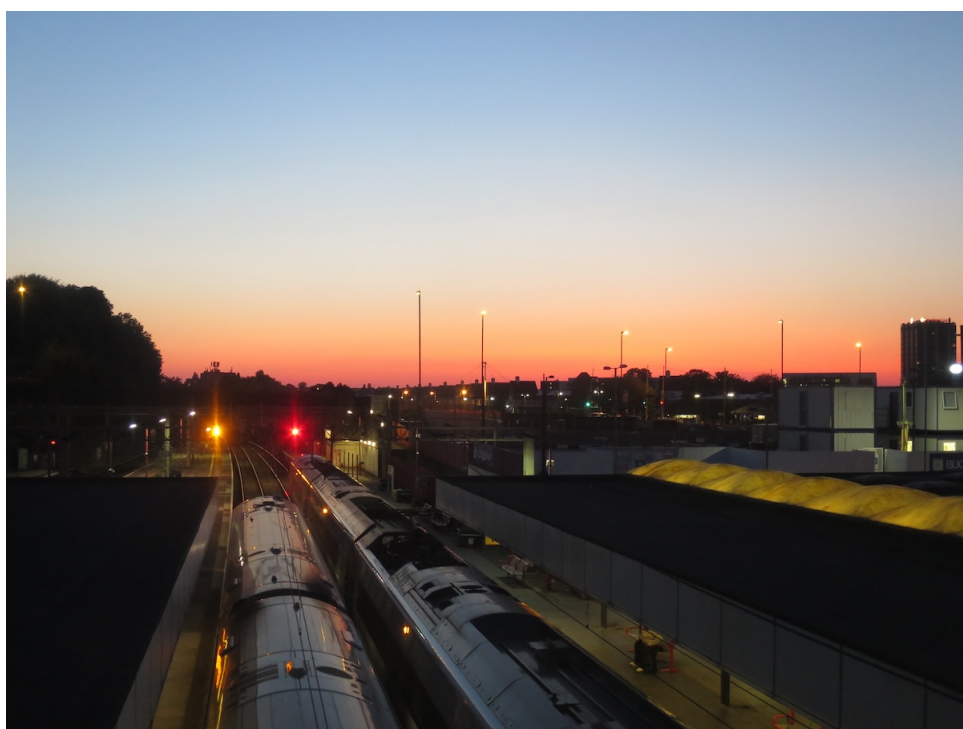


图 1 Sunset